

わたしのおすすめの一冊*絵本編

子ども読書の日(4月23日)及び子ども読書週間(4月23日～5月12日)に併せ、4月13日(火)～4月29日(土)に「あなたのおすすめの一冊を教えてください!」として、柏市立図書館所蔵の児童書に限り、図書館各館で投稿をいただきました。一般的な評価の高い作品のほか、お母さんからの育児中の思い出の1冊などバラエティに富んだリストになりました。
ご応募いただいた皆さま、ありがとうございました。(読み物編はまた後ほど!お楽しみに)

<p>◆『時計つくりのジョニー』 こだま社 エドワード・アーディゾーニ 作 手先が器用でおとなしいジョニーが、一人で大時計を作る。様々な障害を乗り越えて、とうとう大時計を作り上げた時、今までちっとも認めてくれなかった、お父さんが「おまえはたいした子だ」と言ってくれるのです。リアルな時計作りの工程も面白い。小学校中高学年におすすめ。 *40歳代</p>	<p>◆『ピンポーン』 中川ひろたか 文 荒井良二 絵 偕成社 ねこ、いぬ、いろいろな動物の仲間達が出てきます。そして、宅配便屋さんがきて「お届け物です。」と言って続々と出てくるところが私は、おもしろかったです。お客さんは、だれだろう、どんな動物だろうなど考えられるところもおもしろかったです。 *10歳代 サキッチ</p>	<p>◆『おしくらまんじゅう』 かがくいひろし 作 ブロンズ新社 絵がかわいくて単純、ラストのオチもおもしろい。小さい子どもにも楽しく見せられると思います。同じ著者で『だるまさんの』『だるまさんが』もおススメです。 *30歳代 絵本好き</p>	<p>◆『おふとんかけたら』 かがくいひろし 作 ブロンズ新社 子どもさんにたくさん読んでほしい。</p>	<p>◆『キツネのホイティ』 シビル・ヴェッタシンハ 作 福音館書店 お話しに出てくる、歌が楽しいからです。 *30歳代</p>	
<p>◆『おふろでちゃぶちゃぶ』 童心社 松谷みよ子 文 岩崎ちひろ 絵 現在35歳の息子が1歳頃、1ヶ月近く毎日読んでと持ってきたものでした。絵がかわい、文もリズムカルで読んで心地良い。子どもはおふろが大好きだし、自分でパンツや服を脱いだり着たりできるようになった、なりたと思う子どもの心にぴたっとくるのでしょうか。 *60歳代 夏目允子</p>	<p>◆『しゅくだい』 宗正美子 原案 いもとようこ 文・絵 岩崎書店 今日(こんにち)子供達は勉強勉強の毎日ですが、この本は、勉強以外の「しゅくだい」を出されます。それは「だっこ」。だっこしてもらって宿題なんてすてきだナ 暖かみを感じた一冊でした。勉強も大事ですが、親子としての愛情が何よりも大切なんだと感じられた本でした。 *ゆう&みいの母</p>	<p>◆『ポケモンをさがせ』 相原和典 画 小学館 感じたことは、ポケモンをさがせという題名でなんだかワクワクする感じが、ただよってきました。おすすめポイントは、ポケモンを探す以外にもクイズがあってよいたのしく「ポケモンをさがせ」を楽しむことができます。どんな人に読んでもらいたいかは、まだポケモンを知らない人に読んでもらいたいです。 *10歳代</p>	<p>◆『のれたよ、のれたよ、自転車のれたよ』 「生きてます、15歳。」より』ポプラ社 井上美由紀 文 狩野富貴子 絵 未熟児網膜症で生まれた女の子が、おかあさんと二人で力強く生きて行くのだが、自転車にまで乗れるようになる。その努力には計り知れないたくましさがあり、小学生の子ども達にも理解してもらえそうな気がする。 *60歳代 寺田美紀子</p>	<p>◆『うずらちゃんのかくれんぼ』 きもともこ 作 福音館書店 とてもやわらかい絵で色もあたたかく親子で何度も読みました。現在4才の息子の出産祝いでいただいた本で大切にしています。 *30歳代 おうちママ</p>	<p>◆『はらぺこあおむし』 エリック・カール 作・絵 偕成社 色がきれいで、穴が面白い、蝶の誕生がわかりやすい。 *60歳代 佐々木</p>
<p>◆『パパだいすきママだいすき』 やすいすえこ 作 いもとようこ 絵 岩崎書店 子どもも大好きな本ですが、親としても「パパとママがケンカしても本当は仲良しなんだよ、心配いらないよ」という事を子どもに伝えられるので良かったです。 *30歳代</p>	<p>◆『しろいうさぎとくろいうさぎ』 ガス・ウィリアムズ 文・絵 福音館書店 ほんわかかな色使い、子供から大人まで心がほのぼのとなる本です。結婚が決まった人に贈っています。 *50歳代 ウサギ</p>		<p>◆『みみかきめいじん』 かがくいひろし 作 講談社 読んだ後、心がほっこりする。読み聞かせに最適。「〇〇うでをあげたな。」というセリフが我家でブームになった。 *40歳</p>	<p>◇「ノンタン」シリーズ おおともやすおみ・おおともさちこ 作・絵 偕成社 絵がかわいくて読みやすいと思います。あと色々学べます。</p>	<p>◆『しずくちゃん』 ぎぼりつこ 作・絵 岩崎書店 4コマでとても読みやすいからです。 *6歳 M. S しずくみたいでかわいい。 *8歳 黒岩美帆</p>
<p>◇「ミッケ!」シリーズ 小学館 ウォルター・ウィック 写真 ジーン・マルソーロ 文 色々な物を探したりするのが思しく、写真もすごくきれいで見ていてあきないです。ミッケのシリーズは色々ありますが、次から次へと色々なシリーズが見たくるのがミッケです。子どももそうですが、親子で一緒に探したり、楽しめる本です。</p>	<p>◆『ワングリの平和の木』 アフリカでほんとうにあったおはなし』 ジャネット・ウィンター 作 BL出版 ワングリ・マータイさんの自伝です。アフリカのケニアを緑豊かな土地にと、グリーンベルト運動を通じてひたすら木を植えていき、みごとに緑豊かなケニアによみがえらせ、ノーベル平和賞を受賞。これからの地球を守ってくれる子ども達に読んでもらいたい一冊です。 *60歳代 桃井尚代</p>	<p>◇「ねずみくん」シリーズ なかえよしを 作 上野 紀子 絵 ポプラ社 自分が幼い頃、大好きだった絵本です。今は仕事で、子供達に読むこと多く、図書館でよくかかっていますが、今はシリーズがたくさんで驚きました。登場人物はほとんど同じで、どのシリーズも繰り返し楽しめる内容だと思います。ねみちゃんというガールフレンドの女の子もなかなか良いキャラクターですよ。乳児さんからでも、充分楽しめると思います。 *20歳代 佐々木</p>	<p>◆『いったでしょ』 五味太郎 作 偕成社 繰り返し、絵が原色でわかり易い、読むと子どもがわらう。子どもの行動と絵本の内容が同じなので子どもが共感して話をよく聞く。</p>	 <p>※ 今回、多くの方の推薦を頂いている絵本作家 かがくいひろしさんは2009年9月28日に逝去されました。心からご冥福をお祈りいたします。</p>	<p>◆『よるくまクリスマスのまえのよる』 酒井駒子 著 白泉社 2, 3才の小さい子どもの気持ちが本当によく描かれています。子どもさんと一緒に読んで下さい。ママもかわいい夢の世界を旅する、すてきな気持ちになりますよ。 *いけだとしえ</p>
<p>◆『ざぼんじいさんのかきのき』 すとうあさえ 文 織茂恭子 絵 岩崎書店 小学校低学年1年、2年向き ざぼんじいさんのケチンボさとおばあさんの、どんなにいじわるされてもめげないたくましさ、こういう強さを身につけてほしいと思った一冊です。 *60歳代 桃井尚代</p>	<p>◆『ぼくひこうきにのったんだ』 わたなべしげお 作 おおともやすお 絵 あかね書房 読みやすいし、飛行機も乗って見た〜い。 みんな読んでみてね? *9歳</p>	<p>◆『からすのパンやさん』 かこさとし 絵・文 偕成社 カラフルなカラスが子ども心に印象に残りました。カラスの家族全員でパンを作るページはどのパンもとっても美味しそうに食べたかった!! いつか自分の子どもと同じパンを作ってみたいです。 *20歳代 さくらママ</p>	<p>◆『せんとくかあちゃん』 さとうわきこ 作・絵 福音館書店 子どもが楽しそうに聞いていました。</p>	<p>◆『まちにはいろんなかがいて』 佐々木マキ 文・写真 福音館書店 今は絶版になってしまっている写真絵本。日頃なにげなく目にする街角の風景がこの本を読むと少し違って見えてくる。素敵な絵本です。信号機のスイッチ、マンホールのフタ、知らない人の家に「こんにちわ!!」「いってきまーす!」「げんき?」なんて話しかけたくなるような楽しい毎日になる小さい子から大人までおススメの一冊です。 *30歳代 ほしの子</p>	<p>◆『せかいのひとびと』 ピーター・スピアー 絵・文 評論社 世の中にはいろいろな人々がいることがわかって子どもがとてもよるこんだ。 *30歳代</p>
			<p>◇「バムとケロ」シリーズ 島田ゆか 作・絵 文溪堂 どんな時でも、いつも一緒仲良しのバムとケロが楽しい時間を過ごす様子が、子どもにも分かりやすく明るい色彩で、描かれています。全4巻&同作者の「ガラゴ」シリーズにも、同じ登場人物が出てきたり、子ども達と探しながら何度も借りて楽しんでいます。 *4才 Kojito</p>	<p>◆『おふとんかけたら』 かがくいひろし 作 ブロンズ新社 子どもさんにたくさん読んでほしい。</p>	<p>◆『ねないこ だれだ』 せなけいこ 作・絵 福音館書店 子どもが寝ない時に自分で思い出してこの本を出してと言います。時計も気にする様になって9:00になるとあっと言って楽しそうにしています。 *30歳代</p>

<p>◆『じごくのそらべえ 一桂米朝・上方落語・地獄八景より』 田島征彦 作 童心社 地獄に落ちた4人の男達、それぞれの職業をいかして、さてさてどうなるのでしょうか。 * 50歳代</p>	<p>◆『それはすごいなりっぱだね！』 たかはしかずえ 絵 いちかわけいこ 文 アリス館 子どもの成長をみながらほめて育てていく。自分は出来なかったから、是非、読んでもらって、ほめてやってほしい。入園、入学時など。 * 50歳代</p>	<p>◆『とりかえっこ』 さとうわきこ 作 二俣英五郎 絵 ポプラ社 読みかかせには向かないけど子どもと喜んでいっしょによめる。細かい所に配慮されていてとても楽しい。 * 30歳代</p>	<p>◆『くらーいくらいおはなし』 ルース・ブラウン 作・絵 佑学社 小学生どの学年の教室で読んでも、とってももりあがる本です。自分で買おうと思いましたが、出版されてなくて残念です(※)。必ず子どもが喜んでくれる一冊です。本当におすすめ！ * 36歳 くらい ※ 残念ながら絶版になってしまっています。(図書館)</p>		
<p>◆『花さき山』 斉藤隆介 文 滝平二郎 絵 岩崎書店 何度読んでも心がじんとする。「がまんをすると花が咲く」本当にこういう気持ちを、今の子ども達に伝えたいというか分かってほしいと思う。 * 60歳代 Y・K</p>	<p>◆『ライオンさんカレー』 夏目尚吾 作・絵 チャイルド本社 カレーライスを作るという絵本です。にんじんを切ったり・・・と、最後にかわいいライオンのカレーができあがるという話で、子どもが、ライオンさんカレー食べたいと作ってあげました。作り方もわかるので、子どもとカレーを作るのも楽しいと思います。 * 30歳代</p>	<p>◇「バーバパパ」シリーズ アネット・チゾン、タラス・テイラー 作 講談社 キャラクターが個性あって面白いから。</p>	<p>◆『さるのオズワルド』 エゴン・マターセン 作 こぐま社 はじめは、子どもたちにとってもつかかりやすい、言葉あそびをまじえながらすすんでいきますが、大人でもなかなか言えないそのひとことを口にするの大切さに、はっとさせられます。もし、何かをがまんしていることのあるお子さんに、手にとっていただきたい一冊です。 * 30歳代 えびつち</p>	<p>◆『ウェズレーの国』 あすなる書房 ポール・フライシュマン 作 ケビン・ホークス 絵 ちよっと変わっていつも一人ぼっちのウェズレーが、夏休みの自由研究として自分だけの文明を作る。想像力も知的好奇心もすぐられる、夢いっぱいのお話。小学校中高年におすすめ。 * 40歳代</p>	
<p>◆『ものぐさトミー』 ペーン・デュポア 文・絵 岩崎書店 とにかくなまけものトミー。朝起きてから寝るまですべての動作を機械でやってもらいます。ちよっぴりうらやましい一面も...親子で楽しめます！ * 30歳代 ぴんぼんぱんこ</p>	<p>◆『ぴかぴかキドキ』 あきやまただし 作 金の星社 物語がたのしいのはもちろんですが、絵を見ただけで元気になれる。あきやまただしさんの本はみんな大好きです。</p>	<p>◆『ぞうくんのさんぽ』 なかのひろたか 作・絵 福音館書店 線がすっきりしているので絵が良い。 * 60歳代</p>	<p>◆『ぐるんぱのようちえん』 西内ミナミ 作 堀内誠一 絵 福音館書店 はじめは小さくて泣き虫のぞうのぐるんぱがいろいろなところで、いろいろな経験をすするうちにとてもたくましくなり、最後に小さい子どもたちのために幼稚園を開く話。絵も明るい色でかわいらしいです。 * 40歳代 K</p>	<p>◇「バーバちゃん」シリーズ 神沢利子 作 山脇百合子 絵 偕成社 読みやすい(読ませやすい)絵が可愛いので親子で楽しめます。 * 30歳代</p>	<p>◆『ぐりとぐら』 中川李枝子 著 大村百合子 絵 福音館書店 仲良しこよしで楽しいおでかけ。みつけた、大きなたまごで大きな大きなカステラを焼いて森のみんなと仲良く分けっこして、おいしくて幸せなお話です。 * 50歳代 TOMO</p>
<p>◆『くろくとなぞのおぼけ』 なかやみわ 作・絵 童心社 子どもが読んでいてもワクワクキドキでかなり本の中に入っていけます。ワクワクキドキの始末は、そう言う事だったのか・・・と、親子で感動できます。親の私が涙してしまいました。心にじんとする本です。 * 30歳代</p>	<p>◆『葉っぱのフレディ ーいのちの旅ー』 レオ・バスカーリア 作 島田 光雄 絵 童話屋 葉っぱの四季を通じて生命の喜び、厳しさ、非情さなど深いテーマがある。大人も子どもも年齢相応の発見、感動が得られると思う。 * 50歳代</p>	<p>◆『ねえ、どれがいい？』 ジョン・パーニンガム 作 評論社 幼児から低学年の子ども達へ 1ページづつ一緒にページをめくりながら...。「ねえどれがいい？」と指さしながら...。優しい絵の中に入りこんで遊びましょう！！ * 40歳代 きくちゃん 普通の生活では、ありえないシチュエーションばかりで、子どもも選ぶのに困ったり迷ったりしながらも楽しんでいました。何度も読んでほしい。その度に違う答えを選んだりして理由もその度に考えたりと、色々な楽しみ方があって良いと思います。4才くらいからよく読んでいました。 * 30歳代</p>	<p>◆『おさんぽトコちゃんトコトコ』 宮西達也 作・絵 教育画劇 トコ、トコ、トコといっしょに読んでいるように1年生は声を出してくれます。びっくりしたり、笑ったり楽しい絵本です。 * 60歳代 桃井尚代</p>		<p>◆『ふたりはともだち』 アーノルド・ローベル 作 文化出版局 がまくんとかえるくんのユーモアたっぷり、のんびりした生活が楽しく、お互いを思う気持ちがとても優しくて、読む人皆を幸せにしてくれる。1年生の国語の教科書に載っているの、他のお話でがまくんとかえるくんに会える楽しみもあるのではないのでしょうか。 * 40歳代</p>
<p>◆『こんとあき』 林明子 作 福音館書店 きつねのお人形のこんとお出かけをする時に起きる色々な事件にはらはらドキドキしつつ、かつあたたかい気持ちになれる本です。ストーリー性があるので3才位~からおすすめです。キツネのコンがしっぽをはさまれたり犬に連れていかれる場面は臨場感があります。林明子さんの絵を娘は大好きです。 * 30歳代 いのうえゆい</p>	<p>◆『いたずらきかんしゃちゅうちゅう』 バージニア・リー・パートン 文・絵 福音館書店 我が家の子達が大好きでした。 * 60歳代 鶴田道子</p>	<p>◆『べすとアンガス』 マージョリー・フラック 作・絵 アリス館 白黒とカラーのページが交互にあり、次に起こることや、動作を子どもと一緒に考えながら読むことができ、子どもとても楽しんで読んでいました。アンガスという犬が主人公なので、実際の犬もとても好きになったようです。 * 30歳代 八橋恵理 (『アンガスとねこ』と併せて)</p>	<p>◆『あなたをずっとずっとあいている』 宮西達也 作・絵 ポプラ社 息子が幼稚園生だった頃、書店で「好きな本を選んでいいよ」の声に、この本を持ってきた時は、表紙の絵を見て正直「この本かあ」と少しがっかりした覚えがあります。でも、でも読んでびっくりジーンときて涙がこぼれました。それ以来家族で宮西達也さんのファンになり特にティアラのサウルスシリーズは何度読んでも、心にジーンとしてみてきます。女の子も表紙の絵で読まずにきらいにならずに一度読んでみて下さい。泣いちゃいますよ。 * 30歳代 こなみ</p>	<p>◆『てん』 ピーター・レイノルズ 作 あすなる書房 どうせ私なんか...とか、やってもムリとか、最初からあきらめちゃう人にも読んでほしいな。 * 40歳代 夢は世界一周</p>	<p>◆『しろくまちゃんのほっとけーき』 わかやまけん 著 こぐま社 2歳の娘はセリフを覚える位好きな一冊です。「だれかボールをおさえてて」の文の時には本の中のボールを実際におさえてあげていました。こぐまちゃんとしろくまちゃんがおりなす日常生活に直結したお話なので愉しく読めますし、文もそれ程多くないので読みやすいと思います。 * 30歳代 いのうえゆい</p>
<p>◆『アンガスとねこ』 マージョリー・フラック 作・絵 福音館書店 アンガスという犬がねこを知り、ねこもアンガスの気持ちに触れていくお話です。余分なもののない絵、文章の繰り返し、あいくるしいアンガスとねこの表情、落ち着いて絵本の世界に入り込め、二人(二匹)の気持ちに近づけます。小さい子から大人までおすすめです。 * 30歳代 稲本順子</p>	<p>◆『ぶん ぶん ぶるるん』 バイロン・パートン 作 ほるぷ出版 終わりのないお話でたのしめる。親子で、みんなで読んでほしい。 * 50歳代</p>	<p>◆『まゆとおに ーやまんばのむすめ まゆのおはなし』 富安陽子 文 降矢なな 絵 福音館書店 やまんばのむすめまゆのやんちゃぶりにおにもたじたじ。降矢ななさんの絵もとても素敵です。他にもシリーズがあります。 * 40歳代</p>	<p>◆『てぶくろ ーウクライナ民話』 アルビン・トレッセルト 再話 ヤロスラーバ 絵 のら書房 次々と動物が出てきて、手袋に入るのが皆一緒に楽しそう。「これで3匹」と手で数えるのと、「どうぞ」と迎える気持ちを教えてあげられます。私も子供の時から好きな本で子供が産まれてから家族にプレゼントしてもらいました。3歳の娘も「てぶくろ」が大好きです。 * 30歳代 かおりん</p>	<p>◆『ごめんね ともだち』 内田麟太郎 作 降矢なな 絵 偕成社 * 8歳 「おれたち、ともだち！」シリーズは大人気で、たくさん出版されていますね。このお話が気に入ったのかな？(図書館)</p>	
<p>※ 原則として推薦文のままですが、読みやすいよう一部補足等を行ったところがあります。ご了承ください。 柏市立図書館 2002.07(改訂)</p>					